



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）



2024年11月14日

上場会社名 リゾートトラスト株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 4681 URL <https://www.resorttrust.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 伏見 有貴
 問合せ先責任者（役職名） 専務取締役 業務部門管掌 兼CCO（氏名） 井内 克之（TEL）(052)933-6519
 半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 2024年12月11日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向けIR電話会議）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	107,725	20.5	11,433	47.0	11,512	44.5	7,522	23.6
2024年3月期中間期	89,428	6.4	7,776	8.6	7,969	7.1	6,084	△49.9

（注）包括利益 2025年3月期中間期 8,187百万円（△4.5%） 2024年3月期中間期 8,571百万円（△47.4%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	71.19	—
2024年3月期中間期	57.18	—

潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	495,209	140,906	27.2
2024年3月期	468,565	135,607	27.6

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 134,608百万円 2024年3月期 129,372百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	25.00	—	29.00	54.00
2025年3月期	—	27.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	31.00	58.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	245,000	21.4	25,000	18.4	25,300	16.0	17,000	7.0	160.89

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	108,520,799株	2024年3月期	108,520,799株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	2,631,618株	2024年3月期	2,950,763株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	105,664,459株	2024年3月期中間期	106,410,243株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページをご覧ください。
- ・決算補足説明資料については、本日、当社ホームページ(投資家情報-IR資料)に「決算説明資料」を掲載いたします。(https://www.resorttrust.co.jp/ir/)

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結会計期間	7
中間連結包括利益計算書	9
中間連結会計期間	9
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

①当中間連結会計期間の概況

	前中間 連結会計期間 (実績)	当中間 連結会計期間 (実績)	当中間 連結会計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	89,428百万円	107,725百万円	99,400百万円	+20.5%	+8.4%
営業利益	7,776百万円	11,433百万円	7,500百万円	+47.0%	+52.4%
経常利益	7,969百万円	11,512百万円	7,400百万円	+44.5%	+55.6%
親会社株主に帰属する 中間純利益	6,084百万円	7,522百万円	4,600百万円	+23.6%	+63.5%
(参考) 評価営業利益	13,451百万円	16,174百万円	11,600百万円	+20.2%	+39.4%

[前年同期比]

前年同期(2023年4月～9月)には、会員権事業において、2022年3月に販売を開始した「サンクチュアリコート琵琶湖」、2022年10月に販売開始した「サンクチュアリコート日光」を中心に、ホテル会員権の販売が好調でありましたが、当期間(2024年4月～9月)では、再販商品を含むベイコートシリーズなど既存ホテル会員権販売や未開業の琵琶湖、日光のサンクチュアリコートシリーズに加え、2024年8月にはシリーズ第4弾となる「サンクチュアリコート八ヶ岳」を発売開始したことで、前年を上回る契約実績であったこと、メディカル事業において、メディカル会員権の販売が前年を上回り、引き続き好調に推移し、会員数の増加に伴う会費収入の積み上がりが収益へ貢献したことなどにより、ベースアップや新規施設開業に備えた人員増等に伴う人件費の増加、ホテルの修繕維持費の増加などによるコストアップを吸収し、リゾートトラストグループ全体として、増収増益となりました。また、不動産収益の繰延影響等を除いた「実力値」を示す「評価営業利益」は、会員権の販売好調により大きく進展しております。

[計画比]

※「計画」は、2024年5月15日付の業績予想に基づきます。なお、本日付で業績予想を上方修正しております。

計画に対しては、ホテルレストラン等事業においては、台風などの天候不良の影響を受けて、想定よりも集客に苦戦しましたが、メディカル事業においては、検診事業の会員募集が想定を上回りました。また、会員権事業においても、再販商品を含む既存ホテルの会員募集が好調であったのに加え、「サンクチュアリコート八ヶ岳」の発売を早めたことにより、未開業ホテルの会員権の販売量も想定を上回ったことで、不動産売上は開業時まで繰延べられるものの、売上高、利益ともに計画を大きく上回りました。

(参考「評価営業利益」とは、未開業ホテルの会員権販売において、会員権代金の内「不動産代金」は、開業時に一括収益認識されることから、会計上、開業時まで繰延べられますが、その繰延利益が当会計期間中に計上されたと仮定した時の利益を表します。なお、加えて、メディカル会員権などの収益認識基準の影響も考慮し、当会計期間における実力値を示す経営指標として活用しております。)

[全体概況]

当中間連結会計期間における、わが国経済は、持続的な賃上げによる雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり、景気は緩やかに回復しておりますが、海外の様々な情勢不安が国内景気を下押しするリスクとして想定され、先行きは不透明であります。

このような環境下で、当社グループの状況は、前年度に引き続き、ベースアップや事業拡大に備えた採用強化を実施しました。これらの増加コストは、一部の商品(会員権)の価格を見直すことや、今後(2025年1月～)ホテルレストラン事業における年会費(運営管理費)の値上げ等により賄ってまいります。当期間においても、ホテル・メディカルの会員募集の好調が継続しており、更に「サンクチュアリコート八ヶ岳」を2024年8月に発売開始したことで、その新規募集の効果が販売を押し上げたことなどによる会員数の増加や2024年3月に開業した「サンクチュアリコート高山」のホテル稼働が増収に寄与したほか、2024年4月にも一部会員権の値上げを実施しました。

この結果として、売上高は107,725百万円(前年同期比20.5%増)、営業利益は11,433百万円(前年同期比47.0%増)、経常利益は11,512百万円(前年同期比44.5%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は7,522百万円(前年同期比23.6%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

②セグメントの業績概況

【会員権事業】

	前中間連結会計期間 (実績)	当中間連結会計期間 (実績)	前年同期比
売上高	18,621百万円	31,193百万円	+67.5%
セグメント利益	4,943百万円	10,960百万円	+121.7%

会員権事業におきましては、2022年3月から販売を開始した「サンクチュアリコート琵琶湖」、2022年10月から販売を開始した「サンクチュアリコート日光」の会員権販売がそれぞれ好調に推移したこと、既存ホテル会員権の販売割合が増えて利益率が高まったことに加え、2024年8月には「サンクチュアリコート八ヶ岳」を予定よりも早期に販売開始できたことなどにより、増収増益となりました。2024年4月からは一部会員権の価格を見直し、開発原価、建築コストの上昇やベア等的人件費増加に対応してまいります。

【ホテルレストラン等事業】

	前中間連結会計期間 (実績)	当中間連結会計期間 (実績)	前年同期比
売上高	47,447百万円	51,002百万円	+7.5%
セグメント利益	4,444百万円	1,758百万円	△60.4%

ホテルレストラン等事業におきましては、2024年3月に「サンクチュアリコート高山」が開業し、増収に貢献しましたが、台風等の影響で各ホテルの稼働率は伸び悩みました。コスト面では、昨年に引き続き、ベースアップや人事施策の実行、今後のホテル開業に備えた人材採用と育成への投資に加え、ホテルのメンテナンス費用を前倒しで実施していることなどにより、増収減益となりました。

【メディカル事業】

	前中間連結会計期間 (実績)	当中間連結会計期間 (実績)	前年同期比
売上高	23,003百万円	25,189百万円	+9.5%
セグメント利益	3,615百万円	3,854百万円	+6.6%

メディカル事業におきましては、健診施設の一部を新しいビルへ移転する費用など一時的なコストが発生しましたが、新たな健診施設を追加し拡大したほか、2024年8月から大阪・中之島を検診拠点とする「ハイメディック大阪中之島コース」の検診を開始しました。また、昨年に引き続き、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員権募集が好調に推移し、会員の増加に伴う年会費収入等が増加したことなどにより、増収増益となりました。

【その他】

	前中間連結会計期間 (実績)	当中間連結会計期間 (実績)	前年同期比
売上高	355百万円	339百万円	△4.4%
セグメント利益	330百万円	365百万円	+10.6%

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

(2) 当中間期の財政状態の概況

中間連結会計期間末の資産、負債、純資産等の状況に関する分析

(資産)

当中間連結会計期間末の総資産は495,209百万円(前連結会計年度比5.7%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、ホテル開発に伴い、仕掛販売用不動産が13,823百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債合計は354,302百万円(前連結会計年度比6.4%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、未開業物件のホテル会員権販売が増加したことに伴い、前受金が22,398百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は140,906百万円(前連結会計年度比3.9%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が4,432百万円増加したことなどによるものであります。その結果、当中間連結会計期間末における自己資本比率は27.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

※業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。従いまして予想に内在する不確定要素や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高及び利益は当該予想と異なる数値となる可能性があります。本日(2024年11月14日)に開示した業績予想は以下の通りです。

2025年3月期 通期連結業績予想数値(2024年4月1日~2025年3月31日)

	前連結会計年度 (実績)	当連結会計年度 (計画)	増減比	当連結会計年度 (前回予想)
売上高	201,803百万円	245,000百万円	+21.4%	233,200百万円
営業利益	21,119百万円	25,000百万円	+18.4%	22,000百万円
経常利益	21,807百万円	25,300百万円	+16.0%	22,500百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	15,892百万円	17,000百万円	+7.0%	15,900百万円
評価 営業利益	23,899百万円	25,600百万円	+7.1%	22,300百万円

わが国における今後の経済情勢につきましては、持続的な賃上げによる雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり、景気の緩やかな回復が期待されていますが、海外の様々な情勢不安が国内景気を下押しするリスクとして想定されております。

このような状況下で、当社グループは、「2023年4月~2028年3月までの中期5ヵ年経営計画」の2年目として、戦略を実行し、グループのアイデンティティである「ご一緒しますいい人生~より豊かでしあわせな時間を創造します~」の実践を通じた、「真のグループ経営」を実現してまいります。

通期業績の見通しについては、会員権事業において、2024年10月に会員制リゾートホテル「サンクチュアリコート琵琶湖」が開業を迎えることで、これまで繰延べられていた不動産収益が一括計上されること、また、ホテルレストラン等事業、メディカル事業において、会員数の増加、単価の上昇等により運営収益が拡大することに加え、ベースアップ含む賃金の上昇を継続し、更なる生産性向上を目指した好循環を産み出すことなどから、当社グループ全体として売上高 245,000百万円(前年同期比 21.4%増)、営業利益 25,000百万円(同 18.4%増)、経常利益 25,300百万円(同 16.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は、17,000百万円(同 7.0%増)と過去最高の売上高と利益を更新し、増収増益を見込んでおります。

なお、本日付で、会員権販売好調など直近の業績状況を鑑み、業績予想、配当予想を上方修正しております。

配当金の予想については、期末配当金の予想を増配修正しました。中間配当金27円、期末配当金は31円予想とし、年間配当金額は、前年同期に比べ4円増配の年間配当金58円(予想)となり、前期の年間配当金には創立50周年の記念配当4円を含んでいたため実質的には普通配当で8円増配と、過去最高の配当金額となる見込みであります。その結果、配当性向は前回予想と同水準の36.1%となる予想です。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,752	29,644
受取手形、売掛金及び契約資産	11,314	13,304
割賦売掛金	77,978	83,378
営業貸付金	22,608	18,430
有価証券	8,758	7,696
商品	1,156	1,369
販売用不動産	5,388	4,923
原材料及び貯蔵品	1,788	1,976
仕掛販売用不動産	30,110	43,934
リース投資資産	3,762	3,481
その他	6,872	8,803
貸倒引当金	△966	△962
流動資産合計	200,525	215,981
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	100,027	103,142
機械装置及び運搬具(純額)	2,657	2,831
コース勘定	7,642	7,712
土地	48,376	48,908
リース資産(純額)	1,706	2,323
使用権資産	11,589	13,050
建設仮勘定	15,576	17,682
その他(純額)	4,811	4,335
有形固定資産合計	192,389	199,986
無形固定資産		
のれん	842	725
ソフトウェア	2,470	2,524
その他	2,833	3,435
無形固定資産合計	6,146	6,685
投資その他の資産		
投資有価証券	22,727	21,756
関係会社株式	1,339	1,343
長期貸付金	4,367	5,108
退職給付に係る資産	723	690
繰延税金資産	18,594	20,662
その他	22,175	23,413
貸倒引当金	△422	△420
投資その他の資産合計	69,504	72,554
固定資産合計	268,040	279,227
資産合計	468,565	495,209

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,787	1,758
短期借入金	1,650	11,842
1年内返済予定の長期借入金	8,755	654
リース債務	1,451	1,479
未払金	21,534	8,999
未払法人税等	4,595	6,300
未払消費税等	1,044	2,234
前受金	110,219	132,618
前受収益	15,116	12,035
債務保証損失引当金	31	26
ポイント引当金	487	430
その他	11,272	12,977
流動負債合計	177,946	191,357
固定負債		
長期借入金	2,172	2,858
リース債務	20,535	22,282
繰延税金負債	136	114
役員退職慰労引当金	-	21
株式給付引当金	785	879
退職給付に係る負債	3,054	3,215
長期預り保証金	29,109	30,308
償却型長期預り保証金	94,048	97,937
その他	5,169	5,327
固定負債合計	155,011	162,944
負債合計	332,957	354,302
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,590	19,590
資本剰余金	21,610	21,368
利益剰余金	84,193	88,625
自己株式	△5,483	△4,940
株主資本合計	119,911	124,643
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,892	2,927
為替換算調整勘定	3,916	6,469
退職給付に係る調整累計額	652	567
その他の包括利益累計額合計	9,460	9,964
非支配株主持分	6,235	6,298
純資産合計	135,607	140,906
負債純資産合計	468,565	495,209

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	89,428	107,725
売上原価	9,044	15,062
売上総利益	80,383	92,662
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	28,860	33,286
役員退職慰労引当金繰入額	-	13
修繕維持費	2,388	2,808
貸倒引当金繰入額	3	4
水道光熱費	3,847	4,028
減価償却費	4,011	4,136
その他	33,494	36,951
販売費及び一般管理費合計	72,606	81,229
営業利益	7,776	11,433
営業外収益		
受取利息	421	369
受取配当金	47	58
持分法による投資利益	2	8
貸倒引当金戻入額	34	7
債務保証損失引当金戻入額	3	4
為替差益	1	2
助成金収入	65	101
その他	132	139
営業外収益合計	709	691
営業外費用		
支払利息及び社債利息	136	139
シンジケートローン手数料	29	23
控除対象外消費税等	176	248
その他	174	200
営業外費用合計	516	611
経常利益	7,969	11,512

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	1	22
関係会社株式売却益	-	1
投資有価証券売却益	-	2,217
有価証券償還益	1,478	213
特別利益合計	1,480	2,454
特別損失		
固定資産売却損	-	2
固定資産除却損	23	12
減損損失	-	1,799
その他	0	5
特別損失合計	23	1,819
税金等調整前中間純利益	9,426	12,148
法人税、住民税及び事業税	3,265	5,724
法人税等調整額	△50	△1,259
法人税等合計	3,214	4,465
中間純利益	6,212	7,683
非支配株主に帰属する中間純利益	128	160
親会社株主に帰属する中間純利益	6,084	7,522

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	6,212	7,683
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,013	△1,964
為替換算調整勘定	1,367	2,553
退職給付に係る調整額	△21	△84
その他の包括利益合計	2,359	504
中間包括利益	8,571	8,187
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	8,443	8,027
非支配株主に係る中間包括利益	128	160

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	9,426	12,148
減価償却費	4,353	4,575
減損損失	-	1,799
のれん償却額	211	212
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5	△5
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	121	56
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	-	21
受取利息及び受取配当金	△469	△427
支払利息及び社債利息	136	139
為替差損益(△は益)	9	24
固定資産売却損益(△は益)	△1	△20
売上債権の増減額(△は増加)	△5,517	△3,122
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,176	△14,454
仕入債務の増減額(△は減少)	△246	△72
未払金の増減額(△は減少)	△1,540	△8,364
前受金の増減額(△は減少)	19,464	22,299
長期預り保証金の増減額(△は減少)	1,421	3,346
未払消費税等の増減額(△は減少)	△495	1,192
リース投資資産の増減額(△は増加)	289	280
その他	△6,526	△5,128
小計	15,465	14,500
利息及び配当金の受取額	545	509
利息の支払額	△144	△141
法人税等の支払額	△3,936	△4,099
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,929	10,768
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却及び償還による収入	8,263	5,757
投資有価証券の取得による支出	△3,609	△7,061
投資有価証券の売却及び償還による収入	-	3,407
関係会社株式の取得による支出	△4	-
関係会社株式の売却による収入	-	5
有形及び無形固定資産の取得による支出	△6,099	△12,261
有形及び無形固定資産の売却による収入	1	748
貸付けによる支出	△50	△1,049
貸付金の回収による収入	172	183
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△457
その他	△512	△1,099
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,837	△11,825

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△266	10,281
長期借入れによる収入	-	1,094
長期借入金の返済による支出	△6,148	△8,507
自己株式の取得による支出	△2,491	△1
配当金の支払額	△2,691	△3,090
非支配株主への配当金の支払額	△88	△152
その他	△594	△765
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,280	△1,142
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	117
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,173	△2,081
現金及び現金同等物の期首残高	28,926	32,260
現金及び現金同等物の中間期末残高	26,752	30,179

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,621	47,447	23,003	89,072	355	89,428
セグメント間の内部売上高又は振替高	22	1,826	289	2,138	653	2,792
計	18,644	49,274	23,293	91,211	1,008	92,220
セグメント利益	4,943	4,444	3,615	13,004	330	13,335

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	13,004
「その他」の区分の利益	330
全社費用(注)	△5,558
中間連結損益計算書の営業利益	7,776

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,193	51,002	25,189	107,385	339	107,725
セグメント間の内部売上高又は振替高	△24	2,211	418	2,606	1,115	3,721
計	31,169	53,213	25,608	109,991	1,454	111,446
セグメント利益	10,960	1,758	3,854	16,573	365	16,939

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	16,573
「その他」の区分の利益	365
全社費用(注)	△5,505
中間連結損益計算書の営業利益	11,433

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル事業	その他	全社・消去	合計
—	1,799	—	—	—	1,799